6．有価証券の評価基準及び評価方法
　満期保有目的債券
　　償却原価法（定額法）を採用しております。
7．たな卸資産の評価基準及び評価方法
　　評価基準　低価法
　　評価方法　移動平均法を採用しております。
　　但し、附属病院に係る医薬品、診療材料の評価方法は、当分の間、最終仕入原価法により行っております。
8．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法
　　近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。
⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
　　10年利付政府保証債の期末利回りを参考に計算しております。
9．リース取引の会計処理
　リース料総額が3,000千円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
10．附属病院における承継資産の会計処理
　附属病院において法人設立時に国から承継され、資産見返勘定を立てて会計処理を行っている診療機器等については、当該資産見返勘定に係る当事業年度の資産見返勘定戻入額45,228千円を計上しております。
11．消費税等の会計処理
　消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。
12．財務諸表の表示単位
　財務諸表は、千円未満切捨てにより作成しております。

（固定資産の減損に関する注記事項）
⑴　減損の兆候が認められた固定資産

用途	宿泊施設(天心荘)
種類	建物
場所	鹿児島市
帳簿価額	9,805千円
減損の兆候の概要	使用状況の著しい低下
減損を認識しない理由	稼働率は低下しているものの、現在も受入や保守管理を行っており、将来の使用見込みが客観的に存在すると判断されるため

（重要な債務負担行為）
鹿児島大学（郡元）環境バイオ研究棟等改修施設整備等事業
　契約金額　4,817,678千円　　翌期以降支払金額　3,850,298千円

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	31,424,049	1,841,464	15,425	33,250,088	6,469,719	1,346,485	—	—	—	26,780,368	
	構築物	1,765,154	20,437	1,116	1,784,476	723,326	126,443	—	—	—	1,061,149	
	機械装置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	工具器具備品	1,048,438	82,729	289	1,130,879	830,394	22,159	—	—	—	300,484	
	図書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	船舶	1,112,288	—	1,310	1,110,977	426,234	62,340	—	—	—	684,742	
	車両運搬具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	35,349,931	1,944,631	18,141	37,276,421	8,449,675	1,557,428	—	—	—	28,826,745	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	2,845,185	917,974	—	3,763,159	2,063,359	404,016	—	—	—	1,699,799	
	構築物	235,351	54,684	583	289,452	121,769	22,418	—	—	—	167,683	
	機械装置	16,843	—	—	16,843	8,919	2,283	—	—	—	7,923	
	工具器具備品	10,456,995	3,904,296	630,074	13,731,217	6,710,606	1,943,820	—	—	—	7,020,611	